



ほかにはない
アンサーを。

2020年3月期中間期 決算説明資料

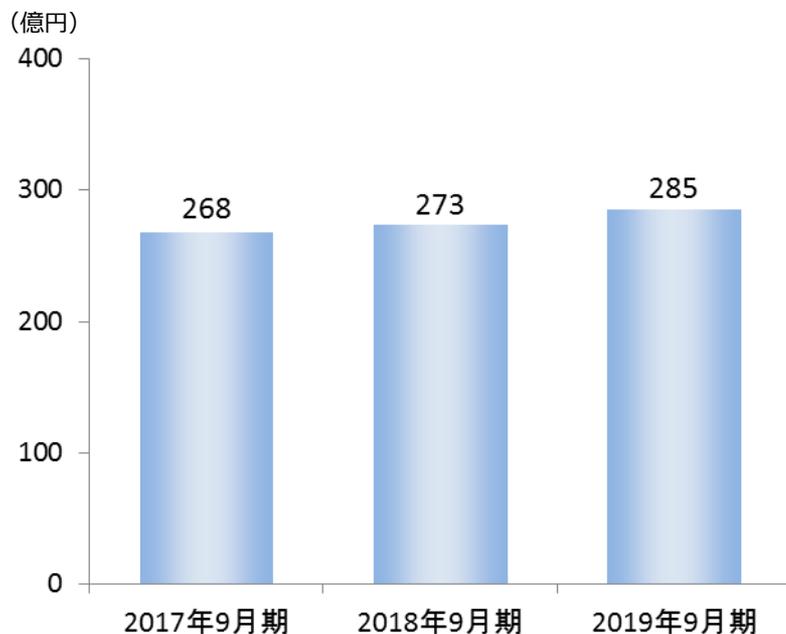
2019年11月14日
オリックス銀行

※計数は、単位未満を切り捨てのうえ、
表示しています。

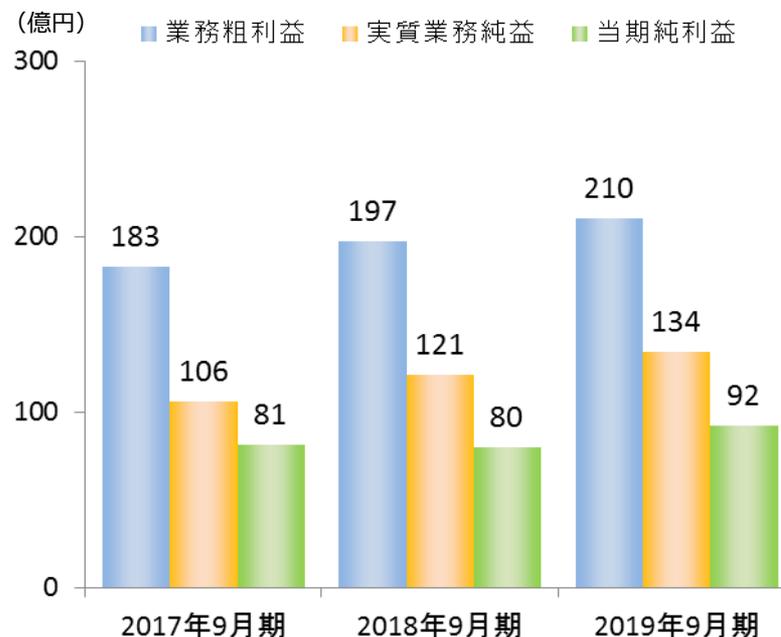
損益の状況

- 経常収益・当期純利益とも、過去最高益を更新。
- 当期純利益は、前年同期比14%増の92億円を確保。

経常収益



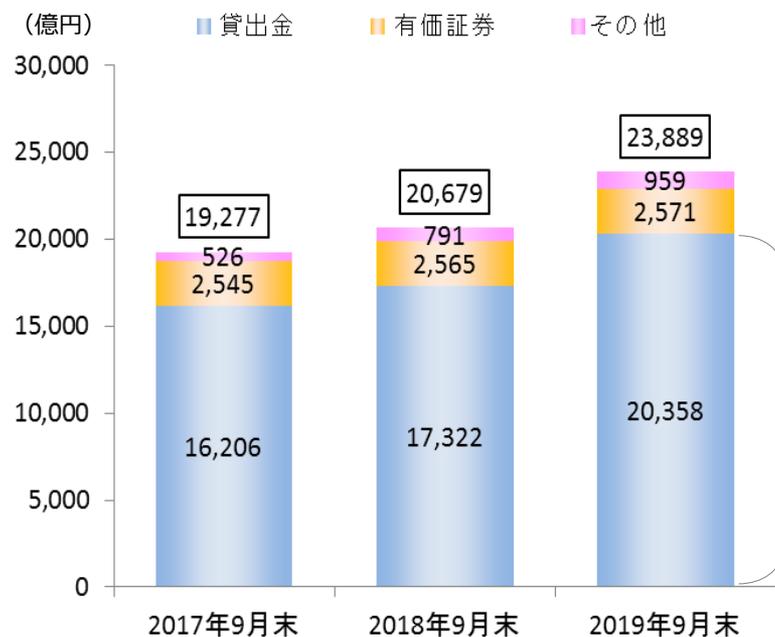
業務粗利益・実質業務純益・当期純利益



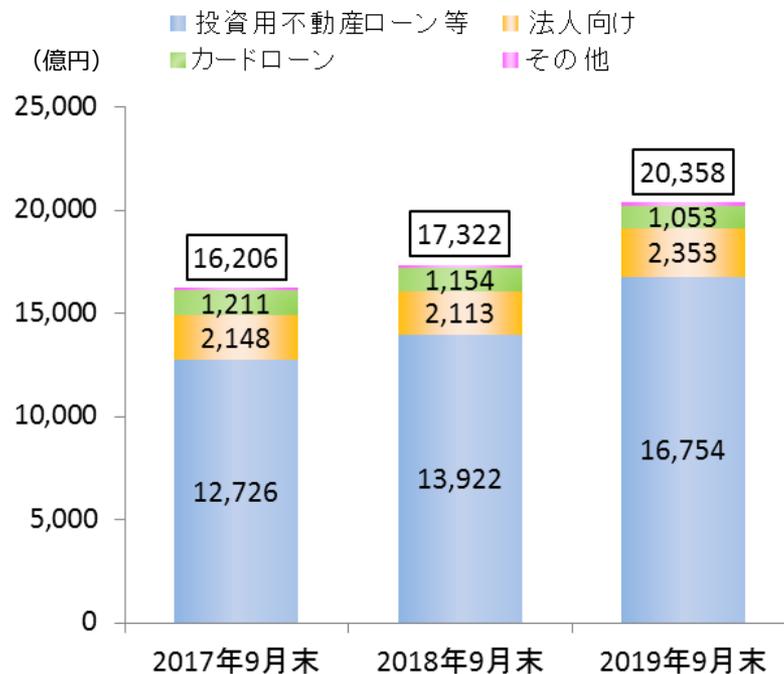
貸出金の状況

- 主力の投資用不動産ローンを中心に残高を伸ばし、貸出金は前年同期末比18%の増加。

運用資産残高



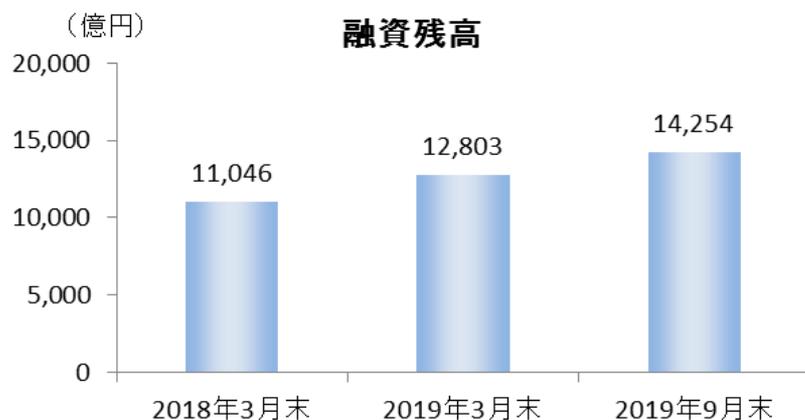
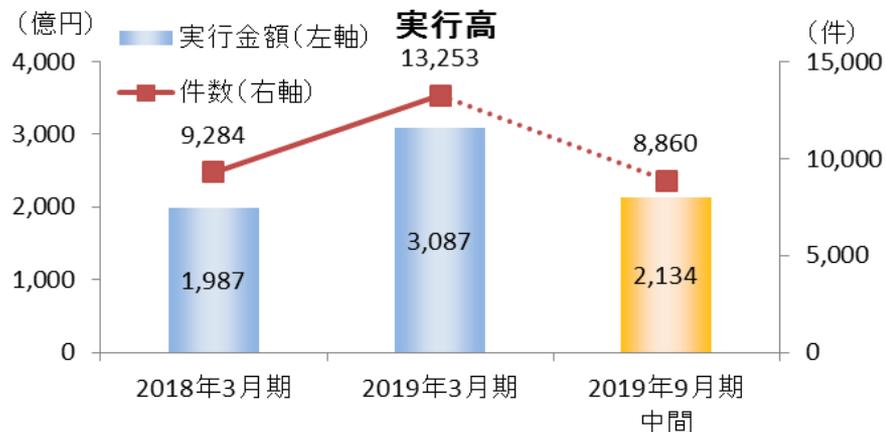
貸出金残高



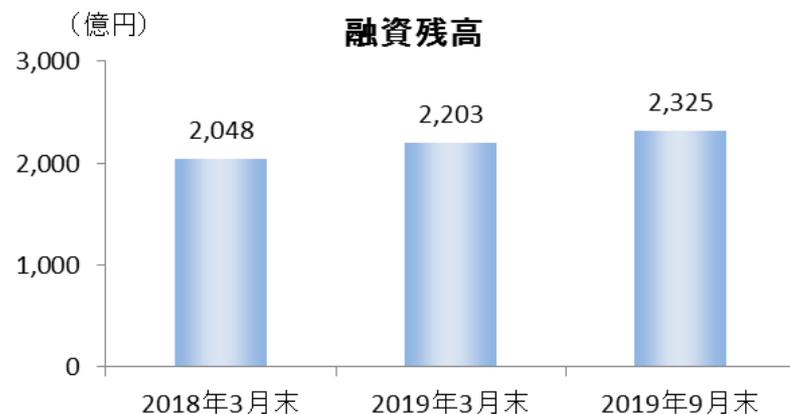
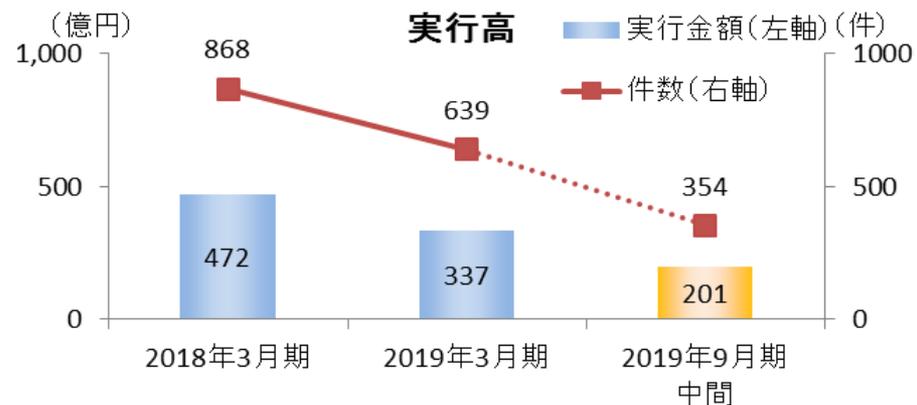
投資用不動産ローンの状況



マンションローン



アパートローン

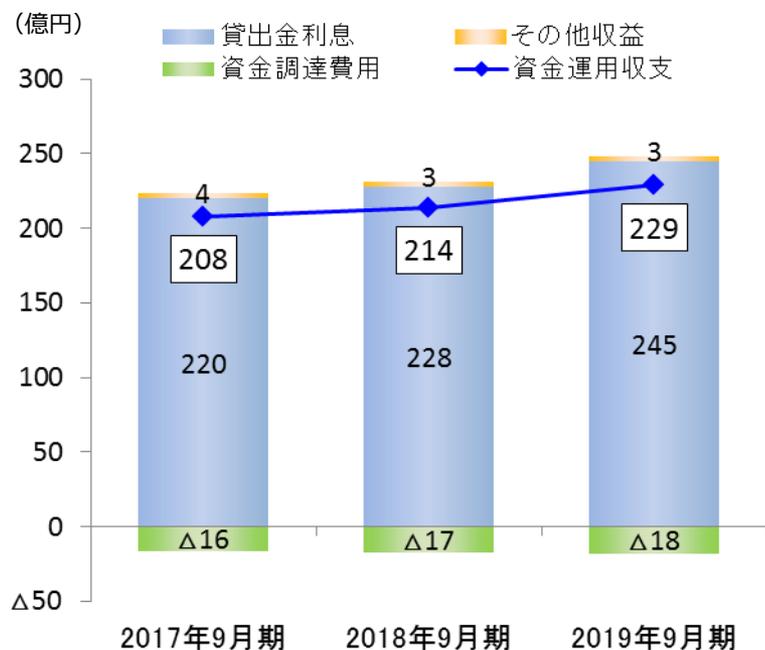


※資産管理会社は除く

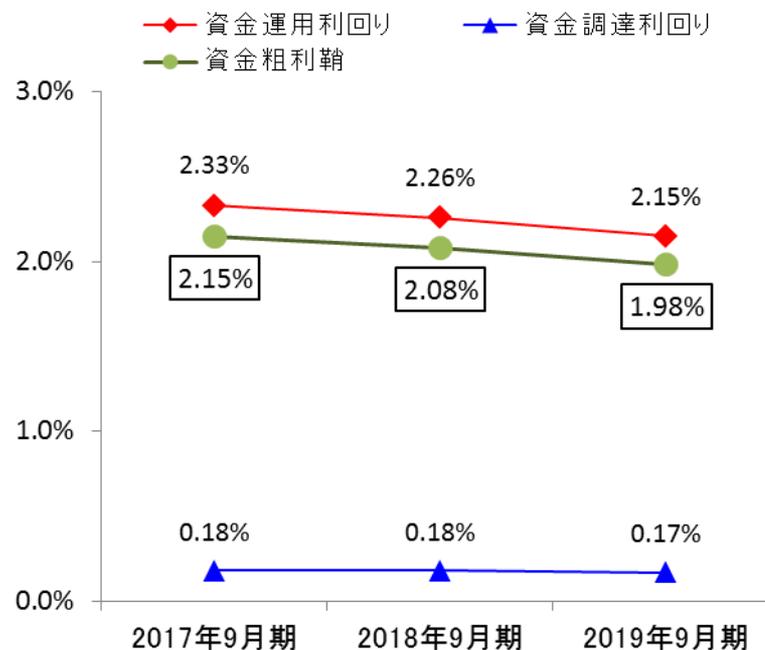
資金運用の状況

- 貸出金の伸長に伴い、資金運用収支は前年同期比7%の増加。
- 資金粗利鞘は、引き続き2%程度を維持。

資金運用収支



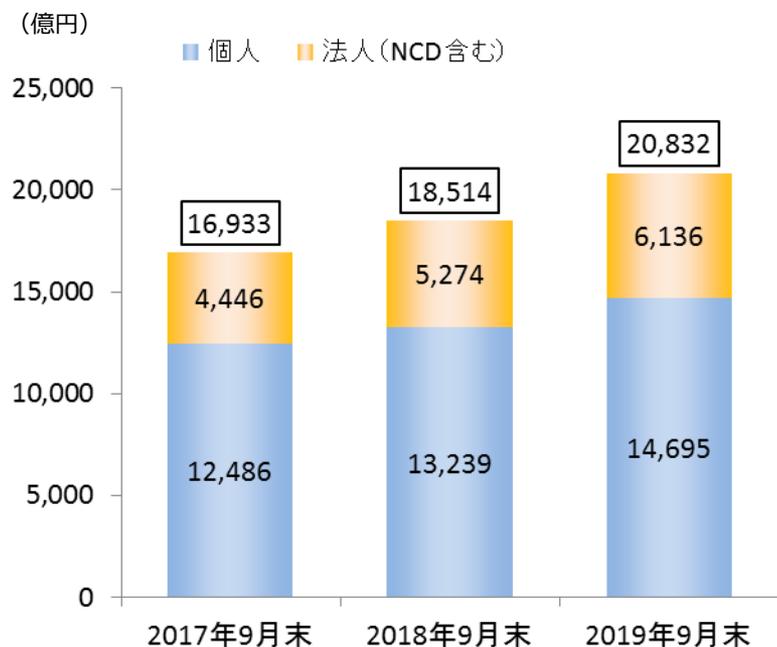
利回り・資金粗利鞘



預金の状況

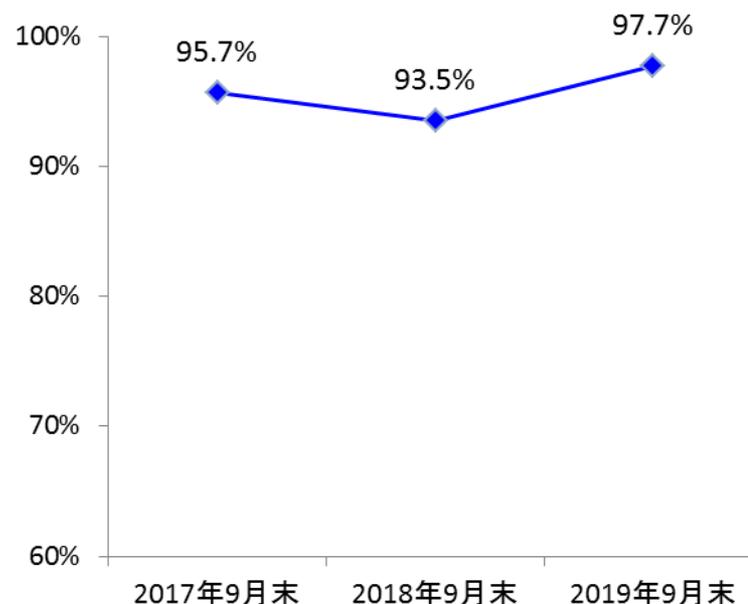
- 預金残高は、貸出金の増加に合わせて、個人預金・法人預金共に順調に増加。
- 預貸率は、引き続き高水準を維持。

預金残高



預貸率

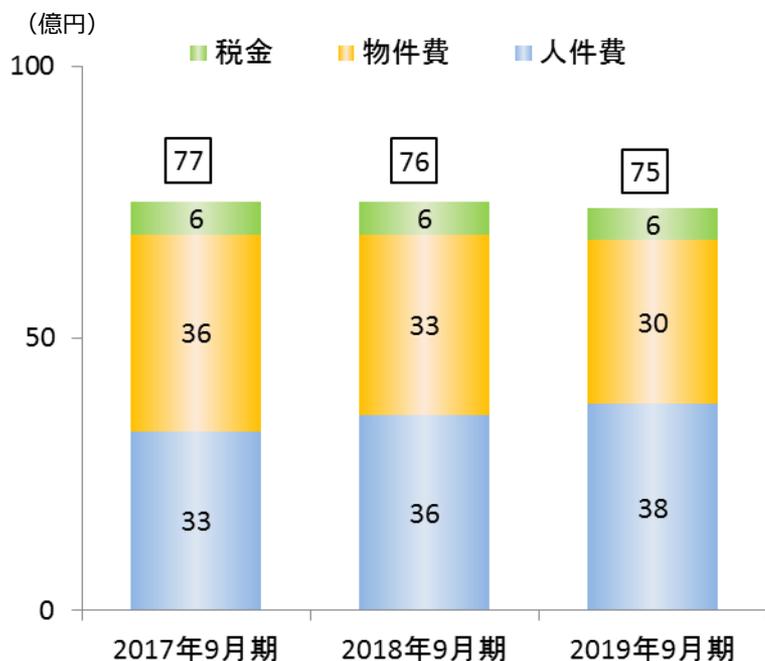
※預貸率 = 貸出金残高 ÷ 預金残高



営業経費と経費率

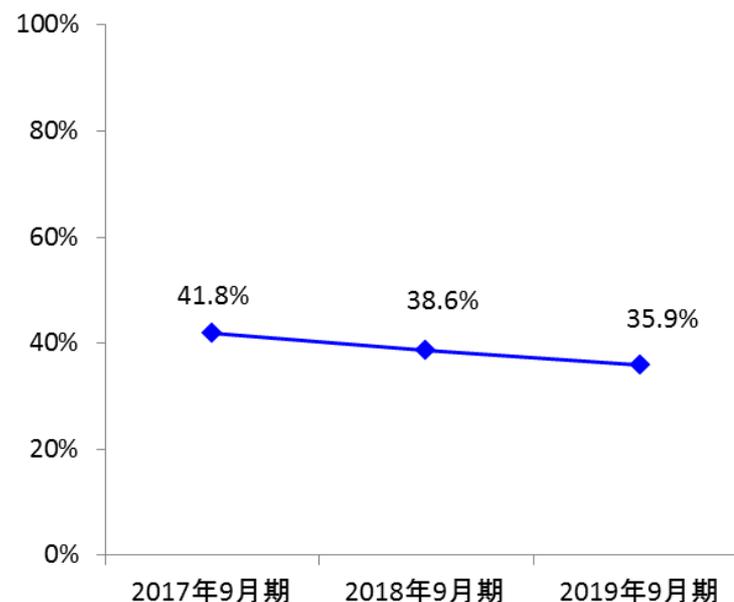
- 営業経費は、人件費が増加するも、広告宣伝費等の低減により、前年同期並みの水準。
- 業務粗利益の増加が寄与し、経費率は前年同期比2.7ポイントの低下。

営業経費



経費率

※経費率 = 営業経費 ÷ 業務粗利益



リスク管理債権(不良債権)の状況

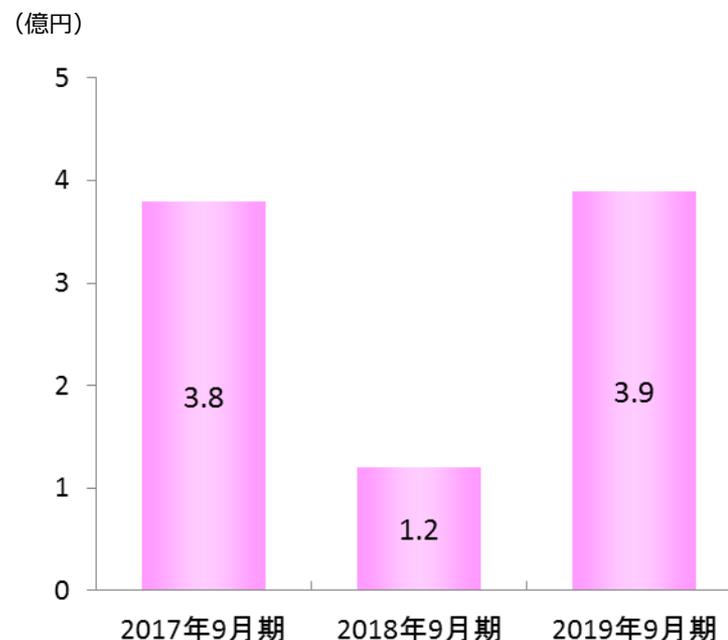
- リスク管理債権比率は、前年同期並みの低水準で推移。
- 与信関連費用は、貸出金増加もあり3.9億円を計上。

リスク管理債権残高・同比率



与信関係費用

※償却債権取立益を含む / △符号は戻り益

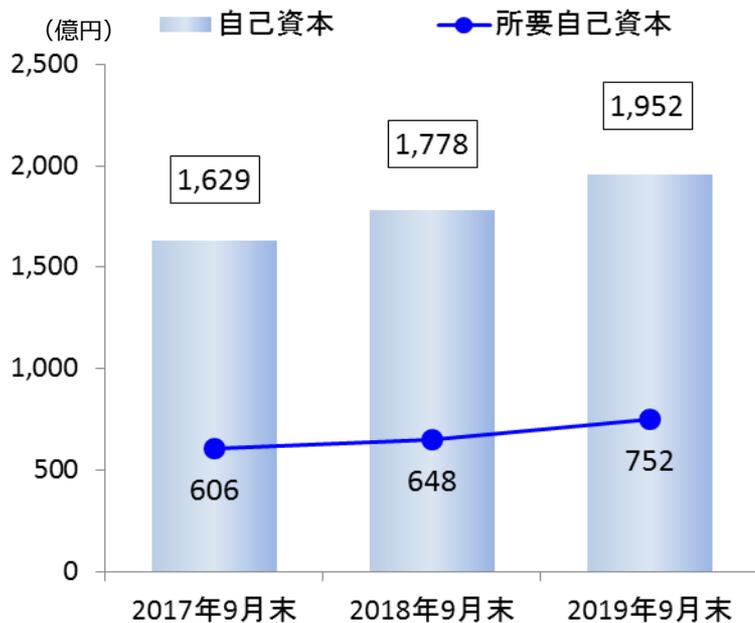


自己資本の状況

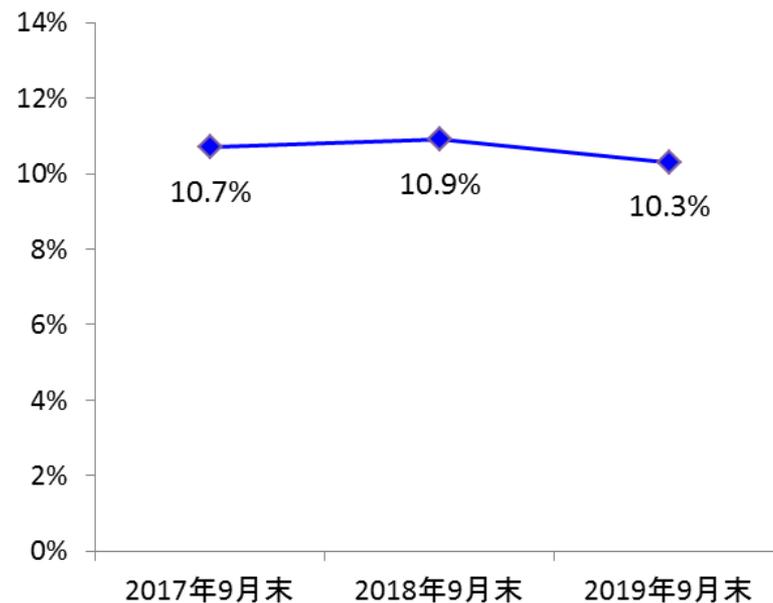
- 自己資本額は前年同期末比9%増。
- 自己資本比率は引き続き健全な水準を維持。

自己資本・所要自己資本

※所要自己資本は国内基準行の最低比率4%で算出

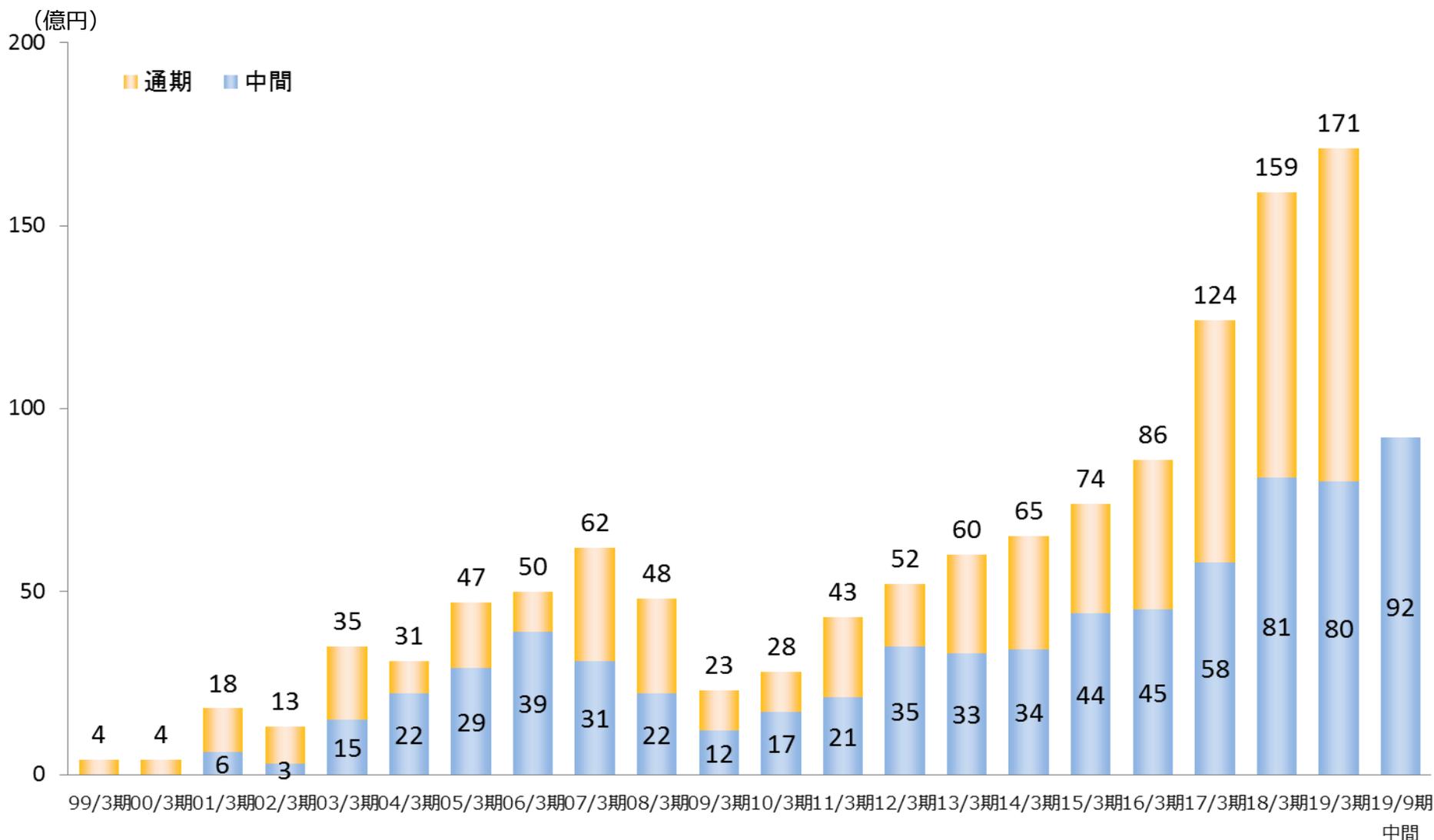


自己資本比率



補足資料

補足資料(1) 当期純利益の推移



補足資料(2) リスク管理債権(不良債権)の状況



➤ 適切な与信判断と途上管理により、リスク管理債権は低水準を維持。

リスク管理債権残高

(単位：億円)

	2017年9月末	2018年9月末	2019年9月末	前年同期末比
破綻先債権	0	0	2	2
延滞債権	43	56	66	9
3カ月以上延滞債権	-	-	-	-
貸出条件緩和債権	0	0	0	0
合計	45	57	69	11

金融再生法ベース開示債権残高

(単位：億円)

	2017年9月末	2018年9月末	2019年9月末	前年同期末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	20	18	19	0
危険債権	24	38	49	11
要管理債権	0	0	0	0
正常債権	16,418	17,585	20,582	2,997
合計	16,463	17,642	20,652	3,009

※上記は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づいています。

